CAEメッセージ

MESSAGE FROM

Cheif Audit Executive

執行役副社長
グループCAE
三上 剛

監査活動を通じて、SMBCグループの企業価値向上に貢献する

SMBCグループを取り巻く国内外の環境は、地政学リスクの高まりやサイバー脅威の深刻化等により、不透明さと不確実性が一段と増しています。また、SMBCグループでは、「Olive」の推進をはじめとするビジネスモデルの変革やインド戦略の加速といった新たな成長領域への事業拡大が進んでいます。このような状況下において、グループ・グローバルベースでのガバナンス体制の高度化や、AI活用に関するリスク、サイバーセキュリティリスクといった多様なリスクへの適切な管理体制の整備がますます重要になっています。

内部監査部門には、こうした内部統制の有効性を経営陣および他部門から独立した立場で検証し、取締役会等に対して客観的なアシュアランス*、助言、洞察、そして先見性を提供する役割が求められていますが、その高度化への期待が一層高まっています。

SMBCグループの内部監査部門は、「高品質の監査活動を通じて、SMBCグループの持続的な企業価値向上に貢献する」というミッションの下、経営に資する監査を着実に実践することを基本方針としており、グループ・グローバルにOne Teamでさまざまな施策に取り組んでいます。具体的には、経営陣のリスク認識の把握や監査対象部署との建設的な対話に向けた取組、グローバルベースでのベストプラクティスを積極的に取り入れた監査手続の標準化・品質評価の高度化、地域やエンティティを跨ぐ監査人の一体感を醸成するための環境整備等に注力しています。さらに、社会の関心が高い新たな領域の監査や、生成AI等のテクノロジーの活用にも積極的に取り組んでいます。

これからもSMBCグループの持続的成長に貢献するため、さらなる高度化に取り組んでいきます。

* 監査対象部署の業務やプロセスに対する、独立した立場からの客観的評価